

# さつきやま魂

さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する青年の育成

崎山中学校だより  
1月26日 第18号  
文責 校長 山下



1月16日(日)、ヘトマト祭りの神事が行われました。当日は、午前9時から大通寺で御幣と羽子板のお祓いを受けた後、下崎山青年団が開催予定で製作していた大草履を、下崎山公民館から山城神社へ運び、最後に神社へ奉納して終了しました。

13日(木)には、事前学習として、御幣を捧持する役を代々受け継いでいる山内清一さんに御来校いただき、ヘトマトの由来等について、話をさせていただきました。主な内容を紹介します。



## ヘトマト祭り 神事のみ開催



山内さんからも、崎中生に、「今の自分があるのは、両親、家族、温かく見守ってくれている地域や先生方など、いろいろな人のおかげです。感謝の気持ちを忘れず、将来、島を離れても、『私のふるさと』は、五島列島の崎山です。」と堂々と語る人になってほしい。」というお願いがありました。

ふるさと崎山を誇りに思い、ますます好きになった生徒が増えたようです。

貴重なお話、ありがとうございました。

・ヘトマトの起源や語源についての詳細は不明である。古くから伝統として受け継がれ、国指定重要無形民俗文化財にも指定されている。

・昭和48年までは旧暦の1月16日に、その後平成18年までは新暦の1月16日に、現在は1月の第3日曜日に開催している。

・「羽根つき」は、「家庭円満」「子孫繁栄」を祈願して行っている。

・「玉せせり」は以前白浜海岸で行っていた。玉は鯨の目をかたどっており、「鯨の供養」の意味もある。

・「綱引き」は、以前は大里地区と白浜地区に分かれて行っており、「豊作」と「豊漁」を祈願するというところもあり真剣に勝負していた。

・「大草履」は、牛を休憩させるため、小さい草履は仔牛(へべんこ)に履かせるため、草履は、「牛の供養」のために製作している。

・以前は青年団だけで祭りを行っていたが、人数不足のため、現在は青年団と消防団を中心に中学生も参加して行っている。

・「へくら」を付ける習慣は以前なかったが、ある時青年団が酔っ払って、「これくらい良かった」とのことから始まった。

・厳寒期に開催されるヘトマト祭りが、御利益のおかげなのか、過去体調不良等になったという人を聞いたことがない。

### アンケートへの御協力を

先日、五島市教育委員会より「五島市小学校・中学校の適正規模・適正配置について」(裏面参照)の説明がありました。それに伴い、2月中旬に「学校の今後のあり方についてのアンケート」を該校で実施するという事です。

市教委の説明によると、このアンケートの主な目的は、①「児童・生徒数の推移等について、該校の児童・生徒、保護者、地域等へ知っていたいただき、学校の今後の在り方について考えていただく。」②「市教委が、①における児童・生徒、保護者、地域等の考えを把握する。」であり、統廃合についての現状は全くの白紙であるとのことです。

アンケートの対象は、児童・保護者・地域住民・教員となっておりますので、実施の際は保護者の皆様の御協力をよろしくお願い致します。

### 学校給食週間です!

1月24日から30日は、全国学校給食週間です。給食について、子どもたちの疑問を栄養教諭の澤本先生に尋ねてみました。

献立づくりで最も大切にしていることは、何と言っても子どもたちの栄養だそうです。

また、調理する際には衛生面に心がけ、食中毒等を絶対に起こさないように気をつけているそうです。

いつも私たちのことを第一に考えてくださっているのですね。毎日、感謝していただきますよ。



## おしらせ

1月24~30日 全国学校給食週間  
2月2日 公立高校前期試験  
2月8日 新入生入学説明会 (14:00~)  
2月15・16日 学年末テスト

### 新春子ども和歌コンクール入賞者

崎山地区新春子ども和歌コンクールの入賞者が決定しました。「ふるさと崎山」の情景がよく浮かぶ作品ばかりです。

最優秀賞 (田口照子賞)  
カンコロカンチャンココの舞い勇ましい

鳴り響く鐘心にしみる  
3年 竹野優花

優秀賞

白い息活気あふれるヘトマトや  
笑顔でつながるさつきやま魂

3年 長谷川琴美

たちのぼる湯気の側では粉まみれ  
伸びゆくもちに笑顔の家族

2年 佐々野敬道

頑張れと箕岳の山が背中押す

崎山人ら笑顔全開

ふるさとこのあったか笑顔咲きほこり  
囲まれ育った崎っ子たち

1年 坂井桃果

崎山はコンビニなくて山ばかり  
それでもここがぼくのふるさと

1年 川脇隆誠